



平成16年 広報

にかほ

編集・発行 / 秋田県仁賀保町役場

8/1

No. 1383
毎月1日・15日発行



夏休み

今月の主な内容

姉妹都市交流2004	P 2 ~ 3
仁賀保の半世紀 / 災害「火災」	P 7
まちの話題 / はじめての通信簿ほか	P 8 ~ 9
ABCから始めよう / 最終回	P10
三浦仁 ^{むつし} さんの笑顔に会いたい	P11

今年ほど「梅雨明け」をはっきりと体感できた夏も珍しいのではないのでしょうか。

夏休み初日の平沢海水浴場。真夏の到来を待ちわびた子どもたちがさっそく繰り出し、水しぶきを上げながら波打ち際を駆け回っていました。



昨年(2003年)の第13回親善訪問団のみなさん

姉妹都市交流2004



シヨウニー市から 親善訪問団が来町します

米国オクラホマ州シヨウニー市と姉妹都市提携を結んで十四年目の今年の夏も、はるか太平洋を越えて友人たちがやって来ます。

今年の訪問団は、アン・デイビス団長を始めとする引率者七人、中学生十四人の一行二十一人。八月四日に仁賀保町に到着後、六日間に亘って町内十二のご家庭にホームステイしながら交流活動を行います。

触れ合いがお互いの財産に

これまでの親善交流でお迎えしたシヨウニー市民は延べ二百二十三人(うち中学生が百三十人)。こうした交流の積み重ねが広い視野を持った人材を育成し、町の活性化と世界平和への貢献を可能にします。

異文化を理解しようとすることは、自らを見つめ直すことにもつながります。ぜひ、

この機会にアメリカを学び、日本の魅力、仁賀保の良さを伝えてあげましょう。訪問団にとつても、町民一人ひとりと触れ合いが何よりの思い出となり、財産となるはずです。

引率者

アン・デイビス	Ann Davis	(姉妹都市委員会・役員)
キム・ヘンリー	Kim Henry	(オクラホマ州知事夫人)
クリスティーン・ブラウン	Christine Brown	(中学校教諭)
レベッカ・ハンプトン	Rebecca Hampton	(小学校教諭)
ニコル・デイビス	Nicole Davis	(大学生)
スペンサー・ハッチ	Spencer Hatch	(姉妹都市委員会・生徒代表)
マイク・チャイルドレス	Michael Childress	(随行)

ようこそ！仁賀保へ
訪問団員の
みなさん

生徒団員 女子

ホープ・ブラウン	Hope Brown	皆さんに会えるのが楽しみです。
アニー・ヴァランディングガム	Annie Vallandingham	(ホストのご家族に)気に入られるといいなあ。
サラ・カッポ	Sarah Cappel	仁賀保のことを色々教えてもらうのが楽しみです。
ギャレット・マクドナルド	Garrette McDonald	皆さんといっしょに特別な時を過ごせそうです。
ケイラ・グッドナイト	Kayla Goodnight	色々な世界を見たい。日本の習慣を学ぶのが楽しみです。
キャサリン・タッカー	Katherine Tucker	会えるのをワクワクして心待ちにしています。
ケイトリン・グレッグ	Kaitlyn Gregg	お互いの文化を学び合って、ずっと友達でいられますように。
サラ・ロジャーズ	Sara Rogers	冒険心いっぱい。びっくりするようなことも大歓迎です。
レイニー・ヘンリー	Laynie Henry	皆さんと楽しく過ごせるよう私も頑張ります。
アリソン・ウォルシュ	Alison Walsh	ホームステイを楽しみにしています。

生徒団員 男子

イーサン・アコック	Ethan Acock	新しい友だち、新しい発見を楽しみにしています。
フィリップ・ガンダーソン	Phillip Gunderson	皆さんに会えるのが楽しみです。
エイドリアン・スウィニー	Adrian Swinney	日本の習慣を学ぶのが楽しみ。神社やお寺も見たい。
ケール・ヤング	Cale Young	すべてが楽しみ。早く会いたいです！

実際の氏名の読み・日本語表記は上記と異なる場合がありますのでご了承ください。

フェライト子ども科学館 入館者30万人達成！



7月17日、記念すべき30万人目の入館者は酒田市の小学5年生、宮田 柊くん。この日は学校の親子レクリエーションで鳥海登山を計画していましたが、雨天のため予定を変更しての来館だったそうです。

巴町長といっしょにクス玉を割り、記念品を受け取ると「びっくりしたけど

うれしい。科学館は2回目。実験コーナーがおもしろいです。学校でも理科の授業が大好きです」と喜びを語ってくれました。

木の カラクリおもちゃ 開催中！ 科学展

夏休み特別展



約30点の木製おもちゃが展示されている今年の特別展。実際に触れて遊んで、歓声を上げる子どもたちのそばで、木の素朴な手触りを楽しみ、その愉快的な動きの仕組みに釘付けになっている保護者の姿も見られました。

遊佐町から訪れたという小学6年生の女の子は「すごく不思議な感じがする。お父さんの方が夢になっています」と笑顔で語っていました。

この特別展は8月29日まで開催されます。



たくさんの方の笑顔で迎えましょう
歓迎パーティーのご案内

パーティーに参加ご希望の方は、あらかじめ国際交流協会事務局（役場企画課内 ☎3045）へお電話で申し込みください。

なお、会場の都合により申し込み多数の場合はおことわりする場合がございますのでご了承ください。

日時 8月7日(土) 午後6時～

会場 スマイル

料金 大人 ¥2千円

中・高校生 ¥千円



訪問団の日程

月日	日 程
8/4 (水)	仁賀保町到着(午後8時30分・スマイル) ホストファミリーと対面
8/5 (木)	仁賀保中学校訪問・交流(午前) フェライト子ども科学館見学(午後) 平沢海水浴場で海水浴(午後)
8/6 (金)	男鹿市で男鹿水族館見学(午前) 秋田市で竿燈観覧(午後)
8/7 (土)	ホストファミリーと自由活動(午前) 茶席体験(午後) 歓迎パーティー(午後6時～スマイル)
8/8 (日)	ホストファミリーと自由活動(終日)
8/9 (月)	仁賀保町出発 (午前6時30分・役場駐車場) 成田空港からアメリカへ《日付変更線》 オクラホマ到着

日程は一部変更される場合があります。



開票所の様子

当町の投票率は 73.37%

第20回参議院議員通常選挙

七月十一日、第二十回参議院議員通常選挙が行われ、当町の投票率（県選挙区）は前回の参議院選挙（平成十三年）を四・六九ポイント上回る七十三・三七パーセントでした。

今回の選挙では、「期日前投票制度」が初めて導入され、当町では六月二十五日から七月十日までの十六日間、むらすぎ荘に期日前投票所を設置。仕事や旅行、レジャー等の理由で選挙当日に投票できない方々が投票を済ませました。町内で期日前投票を行ったのは

仁賀保町開票結果

投票結果

()内は平成13年の数値

	秋田県選挙区	比例代表
有権者数	9,492人 (9,572人)	9,492人 (9,576人)
投票者数	6,964人 (6,574人)	6,963人 (6,576人)
有効票	6,892票 (6,398票)	6,507票 (6,110票)
無効票	72票 (176票)	456票 (466票)
投票率	73.37% (68.68%)	73.36% (68.67%)

秋田県選挙区・候補者別得票数

鈴木 陽悦（無所属・新）	2,482票
今川 和信（日本共産党・新）	361票
斉藤 滋宣（自由民主党・現）	4,049票

比例代表・政党別得票数

小数点以下は切り捨て

政党等の名称	政党等得票数	名簿登載者得票数	計
みどりの会議	77	23	100
自由民主党	2,424	423	2,847
女性党	97	19	116
社会民主党	200	74	274
維新政党・新風	10	2	12
公明党	337	485	822
民主党	1,711	254	1,965
日本共産党	331	38	369

投票所別投票者数 (県選挙区)

投票所	投票者数
第1 (勤労青少年ホーム)	626
第2 (むらすぎ荘)	366
第3 (三森分館)	428
第4 (鈴分館)	571
第5 (室沢分館)	731
第6 (琴浦分館)	583
第7 (両前寺分館)	223
第8 (院内分館)	428
第9 (馬場分館)	298
第10 (杉山分館)	272
第11 (釜ヶ台はんの木)	224
第12 (百目木分館)	297
第13 (小出けやき)	305
第14 (畑分館)	265
期日前 (むらすぎ荘)	1,347
計	6,964

全有権者の十四パーセント以上にあたる千三百四十七人にのぼり、三年前の参議院選挙時の不在者投票数（六百六十五票）に比べて倍

以上の伸びを記録。期日前投票率としては金浦町、男鹿市、藤里町に次いで、県内で四番目に高い数値となりました。

新議員12名が決定

平沢財産区議会

平沢財産区議会議員一般選挙が行われ、十二人の新議員が決定しました。任期は平成二十年六月二十五日までの四年間です。

新議員（敬称略）

- 議長 宮崎與七郎（鈴）
- 副議長 安倍 三男（両前寺）
- 議員 須藤 富市（室沢）
- 佐藤 友志（鈴）
- 阿部 一利（芹田）
- 大須賀芳明（室沢）
- 斎藤 善男（平沢）
- 安倍 淑郎（両前寺）
- 佐藤 一夫（三森）
- 石橋 邦市（平沢）
- 川口 誠三（三森）
- 渡邊 勇一（芹田）



平成19年の本大会は
9月29日～10月9日の11日間

新聞報道等でご承知のとおり、7月6日に日本体育協会の理事会が開かれ、第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」の開催が正式に決定しました。

冬季大会スキー競技会

平成19年2月10日～2月13日

本大会

平成19年9月29日～10月9日

平成18年の第61回大会から夏季大会と秋季大会を統一して開催。

「秋田わか杉国体」は、「君のハートよ位置につけ」のローガンのもと、国体を一過性のイベントに終わらせず、地域の魅力を自ら発掘・創造しながら全国に発信するとともに、地域の活性化と連帯

感を生み出すきっかけとなるよう、県民総参加のもとで開催されます。仁賀保町の皆さんも、さまざまな分野に奮って参加しましょう。

選手、スタッフ、観戦者...
さまざまな立場で町民総参加を

国体に出場するには、競技種目毎に選考規程がありますが、正式種目の他にもデモンストラーション種目が21競技あるので、我と思う方は挑戦してみたいはいかがでしょう。

また、国体運営には地域の方々の協力が欠かせません。スタンドから声援を送る多くの応援団をはじめ、運営スタッフに至るまで全町民で盛り上げていきたいと考えています。運営スタッフ等の内容については、今後あらためてご紹介します。

TOPIC

開催決定記念イベントについて

8月12日(木)

昼の部 午前10時～

会場：秋田駅前ポポロード

内容：物産市、パネル展示

夜の部 午後5時～

会場：秋田県民会館

内容：パネル展示、式典、コンサート（下記のとおり）

松本英子 / アコースティックライブ
中鉢聡 / アリアを中心としたリサイタル
加曾利康之 / エレクトーンコンサート
三者による「make IT real」コンサート

国体に関することは...
社会教育課国体推進係
(町公民館内) ☎373121

こんにちは
お元気ですか

町長 巴 徳雄

潮風公園を会場に、今年も「日本海に響け！太鼓の祭典」が行われる。

新しい趣向も加わり一人でも多くの参加者で賑わい、みんなが楽しい夏の一夜を過ごせることを期待している。この太鼓の祭典が終わると八月である。

暑い日が続いているが、夏の花々は元気に咲き誇っている。お元気で過ごしましょうか。

さて、秋田県で開かれる第62回国民体育大会のサッカー会場として、一昨年から五ヶ年計画で運動公園の整備を進めているが、春に蒔いた芝が梅雨の恵みを受け立派に活着し、気持ちのいい程鮮やかな緑のグラウンドになった。「わか杉国体」という愛称も決まっている。そして「君のハートよ位置につけ」という合言葉も決まっている。

鳥海山と日本海に囲まれた美しい町で全国から参加する選手のみなさんが思いきりプレーできるよ

う、そして全国から集まってくる大会関係者や応援団を温かく迎え、大会を通して心のふれあいと友情の輪を広げ、仁賀保のすばらしい自然と文化に触れてもらうことができるよう、これからも万全の整備と準備が必要である。

すでに平成十二年に準備委員会を設立し準備を進めてきたが、今年に入ってから「マスケットマーク」や「イメージソング」も完成した。国体は、国内におけるスポーツの一大イベントであるが、会場地として成功する為には、町民みんなが真心をこめて運営にあたることとが大切であり、そろそろ具体的な実行が必要だと思っている。

お元気で。



災害に備えチームワーク発揮

平成16年度
仁賀保地区消防団
消防訓練大会



「訓練礼式の部」1位の田抓・杉山消防団



「小型ポンプ操法」1位の釜ヶ台消防団

仁賀保地区消防団消防訓練大会が七月四日、金浦町の仁賀保地区消防署前広場で開催されました。今回は消防団組織の再編後初めての訓練大会。「訓練礼式の部」では各隊の人数が増えたことで競技の難易度が上がりましたが、「その分、動作や行進の迫力が増した」という審査長の講評のとおり、優勝した第六分団第三部（田抓・杉山）をはじめ各部とも日頃の訓練の成果を存分に発揮しました。当町消防団は各競技に好成績を収め、八月七日に本荘市で行われる本荘市由利郡大会には、ポンプ車操法の部に院内、小型ポンプ操法の部に釜ヶ台の両消防団が出場することになりました。



「ポンプ車操法」1位の院内消防団

成績

訓練礼式の部

- 一位 第6分団第3部（田抓・杉山）
- 二位 第6分団第1部（院内・小国）
- 三位 第7分団第1部（伊勢居地・中野）
- 四位 第2分団第3部（長岡・大森・水岡）
- 五位 第5分団第3部（琴浦・両前寺）
- 六位 第7分団第3部（貫木・嘉地・柳口）

小型ポンプ操法の部

- 一位 第6分団第4部第1班（釜ヶ台）
- 二位 第4分団第2部（赤石）
- 三位 第7分団第2部第1班（畑）
- 四位 第3分団第4部（川袋）
- 五位 第7分団第3部第2班（立居地）
- 六位 第4分団第3部（大竹）

ポンプ車操法の部

- 一位 第6分団第1部第1班（院内）

平成16年度 納税推進委員会議



今年度の納税推進委員会議が七月二日、むらすぎ荘で開催されました。

席上、平成十五年度の町税収納実績が報告され、全町の収入率が九十六・四九％と前年をわずかながら下回ったことが税務課から説明されました。

また、このほど委員を退任された三名の方々に感謝状が贈られました。

退任された方々（敬称略）

- 海上 忠（鈴）
- 小杉 セヨ（平沢）
- 佐々木 文夫（東畑）